

労建交労とちぎ

発行所 全日本建設交運一般労働組合
 栃木県本部 〒327-0315
 栃木県佐野市吉水駅前1-2-1
 Tel 0283-62-7312 fax 0283-62-7318
 http://www.dumptege.org/
 E-mail:DQJ06744@nifty.com



市からの国保税通知書を見る吉澤さん「払えないよ」

吉澤辰男さん(大工)
 「市から来た保険料は年間五九万八千円。とても払えないよ。うちには四人家族なんで建設国保だと四五万位。年間一五万円位安くなる計算だね。切り替えるしかないよね。しかしなんで市はこんなに高いのかね。立派な庁舎(佐野市)建てたからそのしわ寄せかね。これじゃますます滞納する人が増えると思うね。どうすんだろ・・・」。

今月各自治体から平成二十八年度分国保税通知が送られています。新年度の国保税を見た組合員からは「市の国保は高すぎて払えない」「組合の建設国保と比較したい」という問い合わせが相次いでいます。組合の建設国保は所得や資産に関係なく、年齢と家族構成で保険料が一律に設定されている健康保険です。建設業に従事する一人親方や四人以下の個人事業所に雇用されている人なら加入できます。(法人は不可)

国保料定額建設国保 問い合わせが急増中

建設国保平成28年度保険料

	19歳以下	20～24歳	25～29歳	30～39歳	40～49歳	50歳以上
本人	12,500	15,500	17,500	19,000	20,000	21,000
家族1人	17,900	20,900	22,900	24,400	25,400	26,400
家族2人	23,300	26,300	28,300	29,800	30,800	31,800
家族3人	28,700	31,700	33,700	35,200	36,200	37,200
家族4人	34,100	37,100	39,100	40,600	41,600	42,600
家族5人	39,500	42,500	44,500	46,000	47,000	48,000
家族6人	44,900	47,900	49,900	51,400	52,400	53,400

※40歳以上の方は介護保険料(月額2400円)も必要です。

「一目ら百キロ走行で積算? 関東地整キャラバン要請

七月二十一日、関東ダンプ栃木、茨城、埼玉南部、北部、神奈川、群馬の各支部代表二十八人が参加して、国交省関東地方整備局へのダンプキャラバン要請行動を行いました。埼玉北部支部が作成した国交省発注現場でのダンプの速度超過や連続運行の実態を記録したDVDを事前に職員に視聴してもらい当日感想を聞きました。出席した全職員が問題であるとの認識を示し

ました。組合側は「労務費は上がっているのに積算単価が下がった理由は何か?そのしわ寄せが労働者に押しつけられているのではないか?そもそもダンプで一日五百キロも走行する積算をしているのか」と発注者としての責任を追及しました。また課題となつてくる現場の実態調査について、担当職員は消極的な姿勢を示



首都圏直下型地震など災害対応も現実的な課題に。

「現場の声を聞いてください」 道路会社本社要請行動

七月一日、全国ダンプ教材委員会では道路会社本社への要請行動を実施、栃木ダンプ支部からはNIPPPO塩谷分会の日原分会長はじめ三名が参加しました。最大手道路会社であるNIPPPO本社では最前線で日夜合材運搬に従事するダンプの苦しい現状を訴えました。直接地域別工場を担当する関東第二支店も訪問、日原分会長が担当職員に「長年専属代車として働いている組合員と下請会社らのダンプとの配車問題など



継続した要請行動によりNIPPPOの対応も真剣に。

しました。組合側は国の決議なども示し、本気になって取り組むように迫りました。

下請会社に話をしても改善されない。直接工場長に話をするしかない。支店からも指導してもらいたい。また安全運行についても積極的に提言したい」と要望しました。担当者らは誠意をもって対応したいと回答しました。

労働保険加入事業所増加 安心して働ける職場づくりの加

従業員を一人でも雇用すれば、事業主は労働保険(労災保険+雇用保険)に加入する義務があります。しかし、煩雑な手続き等がネックになり未加入の事業所が少なくありません。国は未加入事業所に対する罰則の強化など対策を強めています。組合では一人親方の特別加入労災とは別に、労働保険の事務組合として事業所から事務委託を受けることができます。

組合では当面三〇事業所を目標に取り組んでいます。労使ともに安心して働ける職場づくりをサポートする重要な活動になっています。

休業補償で雇用も確保

委託事業所のひとつ(有)ダイイチ産業では、運転手の浅野さんが今年四月、碎石場の台貫で転倒し右足首を骨折約三カ月にわたり治療のため仕事をすることができませんでした。

会社では「労災に入っていないければ大変だった。運転手の安定雇用のためにも必要だ」と話しています。ある事業主は「この業界は遅れている。いまだに運転手を使い捨て感覚で使っている親方も多い。これからの時代そんな業者は生き残れない」と補償制度の必要性を語っています。

行政指導の影響もあり、委託事業所数は年々増えています。加入予定事業所も含めるとすでに二十六事業所が組合に事務委託をして労働保険手続きを行っています。

事故発生時から組合が書類作成や労基署への届け出など手続きを代行、労災から治療費と休業補償が支給されました。浅野さんは七月末から無事職場復帰



参議院選挙総括

七月一〇日行われた参議院選挙。栃木選挙区では野党統一候補として無所属のたのべたかお氏が自民現職と事実上一騎打ちの闘いを展開、残念ながら当選にはいたりませんでした。

しかし、初めて行われた野党共闘による国政選挙によって、県内では新しい可能性が生まれています。

たのべ氏の勇気ある立候補に心から敬意を表したいと思います。

組合では機関紙等で支援を訴えるとともに、事務所前にポスターを掲示、地元集会、演説会への参加、ビラの全戸配布など、たのべ氏の勝利にむけて奮闘しました。



ラーメン放浪記⑩

【浅草食堂(浅沼町)】

店はアパートと墓地の間、路地のつき当たりになり圧倒的存在感であります。発見は偶然でした。「入るべきである」。天の声が聞こえました。しかし一人で入る勇気がなく、後日友人に同行してもらい突入しました。洗濯物を干している生活感あふれる入口をくぐると店内は薄暗く、昭和五〇年代から一切の設備投資を放棄したかのようなたたずまい。カウンターとテーブル席(2卓)があります。餃子はいらないと思

はラーメンでいい。変なオリジナルテイーはでない、と言うか店自体が強烈な個性を發揮しているのだからそれだけで十分です。定食もボリュームがあつて安くてうまい。場所は秘密です。

メニューは意外に豊富、ポークソテー定食なんてのもあります。しかし、ここはやつぱり「浅草ラーメン」(650円)。ラーメンのなかに餃子が4個入っています。店主は「ワンタン麺みたいでしょ」と言いますが、かなり違うと思います。しかしうまい。餃子はいらないと思



一見さんには難関。超庶民的食堂入口。電話は(4)局!

【協力店紹介】 塚田茂樹さん



接客、整備、登録を1人でこなす徹底したたコストカットにより低価格販売を実現。

塚田さんは長年勤めた佐川急便を六年前に退社、市内では珍しい無店舗型の中古車販売業を始めました。「景気の悪さを美感しています。今年に入って特にひどいですね。アベノミックスの恩恵なんてまったく感じませんね」 「仕入の目利きが重要です。良質で低価格の車を仕入れるためにいろんなネットワークを駆使しています。気軽に見に来てください」
◎展示場所 佐野市浅沼町旧五〇号イオンタウン西側交差点角